

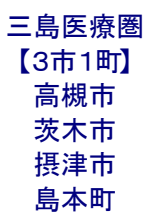


# 吉田ただのりの議会報告

## 三島医療圏における高槻市が果たす役割について！

【要望】  
地域医療の再生活計等を積極的に活用すべきだ。

3市1町と財団の間で職員派遣なども含めて、事業運営のあり方や課題解決に向けて検討を進めてまいります。



【質問】  
センターへの職員派遣の再編成は再編成するべきですか？

③基本協定書を締結し、運営経費等を応分の負担にするなど3市1町での共同の運営体制が実現。

②「かかりつけ医」を持たない患者が搬送先で悪化した場合にも後送できるような、大場医大及び小児二次救急医療機関（5病院）と協定を締結。

①高槻島本夜間休日応急診療所を活用して小児初期救急医療体制の広域化が実現。



【質問】  
平成24年3月に三島地域総合救急医療センター構想の実現に向けた取組状況は？

【議員提出議案第1号】  
高槻市議員定数条例中一部改正について  
●「36人」を「34人」に改める条例が多数賛成で可決成立しました。

【議員提出議案第2号】  
議員報酬の改正については、小数賛成で否決されました。  
●本議案は、第1号議案の対案であることや議会あり方検討会での報酬審議会での議論に託すとの意向を尊重し反対しました。



本会議場で一般質問する  
吉田ただのり市議（3月27日）

【質問】  
救急搬送先の決定時間短縮を図る「救急車へのスマートフォン導入」についての効果は？

【答弁】仮に市内医療機関の受入れが困難となった場合でも、広域的に医療機関の選定が迅速に行えます。

【要望】ドクターカーは、三島医療圏内の運行に拡大するべきである！



## 独居高齢者宅に熱感知センサー（生活リズムセンサー）の設置が導入されました！

【要望】  
対象者には全員設置するという積極的な対応をお願いしたい。設置することで命を救う率が高まるということです。私は個人的にも、この1年間で2回、目の前でその現実に遭遇しました。1回目は、民間が設置したセンサーによって命が助かりました。2回目は、センサーが設置されていたらという現場に直面しました。設置対象者については、課題の一つとして再検討を要望させていただきます。

②事業内容は、日常的に使用する台所やトイレ前などに熱感知センサーを設置し、使用前はタクトセンサーを設定し、使用前は通過するたびにカウントがリセットされる仕組みで、一定時間経過後に自動的に通報される。受信センサーの対応を行うもの。

【質問】  
昨年代表質問「熱感知センサー」の目的と内容は？



本会議・質疑



新設される「熱感知センサー」

離れて暮らすご家族を見守る



既設の「緊急通報装置」



【要望】  
災害発生時に、被災者への支援を迅速に行うことが重要である。特に、高齢者や障害者などの脆弱な層に対する支援は、地域社会の持続可能な発展のために不可欠である。また、災害発生時の避難誘導や物資の供給など、地域住民の安全と安心を確保するための取り組みを強化する必要がある。



【要望】  
総務消防委員会では、副委員長として、指摘・要望しました。

総務消防委員会では、副委員長として、指摘・要望しました。